

実社会 数式処理 シンポジウム

```
#include<stdio.h>
int gcd(int a,int b);
main(){
  int x,y,z;
  scanf("%d",&x);scanf("%d",&y);
  z=gcd(x,y);
  printf("%d",z);
}
int gcd(int a,int b){
  int c;
  while(b <> 0){
    c = a%b;
    a=b;
    b=c;
  }
  return a;
}
```

我々の実社会の問題解決に重要な役割を担う数式処理。

公開鍵暗号解読や数式処理の教育的利用等に携わる研究者たちと数式処理を学ぶ学生が繰り広げる熱き議論。

日時：2012年12月8日(土)

会場：神戸大学 発達科学部 B棟212号室



題目： 13:00 - 13:55 公開鍵暗号の安全性評価と計算数学 (情報通信研究機構研究員: 篠原直行氏)
14:00 - 14:55 これからのe-Learningと数式処理 (名古屋大学大学院准教授: 中村泰之氏)
15:00 - 15:55 学生から見た数式処理の表と裏 (神戸大学大学院大学院生: 増井貴明氏)
16:00 - 17:30 パネルディスカッション

司会: 長坂耕作氏 (神戸大学大学院)

パネリスト: 桐生裕介氏 (Studio Phones), 篠原直行氏 (情報通信研究機構)

中村泰之氏 (名古屋大学大学院), 増井貴明氏 (神戸大学大学院)

主催：神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 学術Weeks2012